

■広場の計画について

- ・通常時は区民の憩いの場や区民会館の利用者用の臨時的駐輪場として利用するほか、イベント等では区民交流の場として、東側ピロティや区民会館ホワイエ、東2期棟1階区民交流機能、2階テラス等と一体利用ができるよう整備し、各機能の連携に配慮した整備をします。
- ・広場に接する中央の区道は自転車歩行者専用道路を目指します。広場と中央の区道を一体的な利用ができるよう舗装等を工夫し、テラス部分を合わせて約3,350㎡(天空部分約2,250㎡)を確保します。(参考:現状の中庭の広さは約1,600㎡)
- ・東西南北からアクセスできる広場は、近隣住宅地に配慮した上で、原則、常時区民に開放します。
- ・既存のケヤキをできるだけ保存し、木漏れ日空間を継承します。
- ・広場にはイベント等の利用を想定した設備(電気、水道等)の設置について検討します。
- ・災害時には、関係機関等の車両の駐車場として使用します。

■リングテラスの計画について

- 区民活動に配慮するテラス
  - ・2階テラスは、ギャラリーやイベント利用など、多様な区民利用に対応する設えとします。
  - ・1階テラス下は、日差しや雨を避け、ピロティと一体の半屋外空間として利用します。
- 東西連携
  - ・2階テラスは東西棟をリング状につなぎ、日常的な移動動線として機能連携を強化します。
- 広場・テラスと建物の関係性を強める
  - ・広場に面した1階には、区民利用の多い機能(世田谷総合支所、区民交流機能、区民会館機能など)を配置し、区民活動が一望でき賑わい溢れる空間とします。
  - ・2階には、レストランや区民も利用可能な会議室を配置し、区民も職員も利用しやすい配置とします。
- 災害対策の強化
  - ・広場が現状よりも広くなることで、緊急車両、物資供給車両スペースとしての活用がしやすくなります。
  - ・また、テラス下は災害時には雨に濡れないスペースとして活用できます。
  - ・2階テラスは、避難時動線の分散化につながり、災害時の安全性を向上します。

